

平成30年度 第2回花見川区公民館運営審議会 議事録

1 日 時 平成31年3月19日(火) 午前10時00分～午後12時10分

2 場 所 幕張公民館 講堂

3 出席者 出席・・・15名(定足数8名)

竹内昌夫委員、宇野勝男委員、鶴岡義昭委員、宮間久男委員、吉田とし子委員、大矢建三委員、東野陽子委員、小池泰子委員、服部恭子委員、田岡與志昭委員、門脇昌子委員、橋本香代委員、河合千晶委員、大木 操委員、大塚由美子委員(事務局)

千葉県教育委員会生涯学習部生涯学習振興課

田島寛純(課長補佐)、柴崎まつ子(主査)、石毛隆幸(主査補)

渡辺 弘館長、村松英司副館長(幕張)、南川昭弘館長(花園)、平川幸雄館長(犢橋)

齋藤 敬館長(検見川)、飯塚 清館長(花見川)、鵜田芳朗館長(さつきが丘)、

齊藤和範館長(こてはし台)、松戸義明館長(長作)、林 弘明館長(朝日ヶ丘)、

友杉修三館長(幕張本郷)、海寶孝夫、縄稚美季、西田智子(幕張)

4 審議会
議事

(1) 報告事項

平成30年度公民館利用状況について(1月末現在)

平成30年度公民館事業報告について(1月末現在)

(2) 協議事項

平成31年度公民館事業計画について

(3) 報告事項

千葉市公民館設置管理条例の一部改正について

5 審議会の概要

(1) 開会のことば(進行:柴崎主査)

(2) 公民館運営審議会委員長挨拶(竹内委員長)

(3) 生涯学習振興課挨拶(田島課長補佐)

(4) 平成30年1月末現在要望事項についての報告(幕張公民館 渡辺館長)

(5) 平成30年1月末現在利用状況報告(幕張公民館 渡辺館長)

(6) 平成30年1月末現在事業報告について各館より説明

(7) 平成31年度事業計画について各館より説明、協議

(8) その他

千葉市公民館設置管理条例の一部改正について振興課より説明

6 会議経過

柴 崎 生涯学習振興課 主査	本日は15名の委員が出席されており、千葉市公民館管理規則第16条第1項の規定によりまして過半数の出席があり会議は成立しております。本会議は、千葉市情報公開条例第25条に基づき公開となっております。
----------------------	--

竹内 委員長	<p>ます。現在傍聴人はいらしていません。また、議事録を作成するために録音させていただきますので、ご了承いただきたいと思います。なお1時間半程度を予定しています。</p> <p>おはようございます。桜の開花宣言もそろそろではないかと待たれているところです。昨年4月から運営が千葉市から公益財団法人千葉市教育振興財団に委託されまして、1年が過ぎようとしています。良かったこと、改善してほしい点を出し、よりよい公民館活動につなげていきたいと思います。また、本日は千葉市公民館設置管理条例の改正についてもお話があります。ご協力のほどよろしく願いいたします。</p>
田島 生涯学習振興課 課長補佐	<p>おはようございます。生涯学習振興課の田島です。本日はお忙しいなかご出席いただきましてありがとうございます。また、日頃より公民館活動にご理解ご協力を賜っていることについて、この場を借りてお礼申し上げます。本日は今年度第2回の審議会です。生涯学習振興課としましても、指定管理者と協力してよりよい運営を目指してまいりたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしく願いいたします。</p>
柴崎 生涯学習振興課 主査	<p>議事に入ります前に、第1回の運営審議会で大矢委員から「子育てに関する事業に無償で携わる方への謝礼について配慮できないか」とのご意見につきまして、幕張公民館長よりご報告申し上げます。</p>
渡辺 幕張公民館長	<p>幕張公民館の渡辺です。それではご報告させていただきます。 なお、この後の各館からのご説明等は、着座のまま、進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。 第1回の審議会、また、それ以前の運営審議会で、大矢委員から頂いていたご意見につきまして、昨年7月4日にお電話で、そして、10月29日に大矢委員、生涯学習振興課職員、さつきが丘館長の同席のもと、ご協議をさせていただきました。また、この件に関しましては、前回の運営審議会において、東野副委員長からも、話合いの過程と結果の報告をしていただきたいとのご意見を頂いておりました。 まず、大矢委員から、子育てママのおしゃべりタイムに絡み、「各公民館で実施されている子育て支援に係る活動に対して、予算的なものを分けられないのか」「平等にして欲しい」というご意見を頂いておりました。このことにつきまして、昨年7月4日、10月29日に大矢委員に、これからご説明する内容をお伝えいたしましたのでご報告します。 まず、ご承知のとおり、今年度から公民館の運営体制が千葉市の直営から、公益財団法人千葉市教育振興財団の指定管理となったこと。この指定管理者制度導入による大きなメリットの一つとして、「管理運営費」の再配分がございます。これにより、公民館の運営にかかる経費、例えば、施設の環境整備費用である「修繕費」や、図書購入などにあてる「消耗品費」、公民館の床のワックスがけや樹木の剪定などの費用である「委託費」、そして、主催事業の講師や、指導者、協力者にお支払いする「謝礼、報償費(諸謝金)」などが、大幅に増えたこと。委員の皆様</p>

<p>柴 崎 生涯学習振興課 主査</p>	<p>方におかれましても、今年度、各公民館の施設環境が 大きく改善していることにお気づきいただいていることと存じます。このうち、主催事業の講師、指導者等にお支払いする「謝礼、報償費(諸謝金)」につきましては、花見川区全体では、昨年度の2倍の予算を充てることができております。各地区館が昨年度より、さらに充実させた事業計画の実施に必要な額の「謝礼、報償費(諸謝金)」を、各公民館の要望どおり配付することが出来たこと。さらに、まだ予算に残額があるので、毎月開催している「花見川区の館長会議」などで、各公民館へ、「報償費」などの予算に残額がある状況を説明して、主催事業の更なる充実や、見直し、社会教育施設である公民館として支援が可能な事業の積極的な展開をお願いしていること、そして、さつきが丘公民館でも、事業の見直しを図り、新たに「子育て支援活動されている団体」に対し、「謝礼、報償費(諸謝金)」をお支払いして、公民館として支援を開始したこと、引き続き、今後も、この方向で、事業を展開していきたいと考えていることなどを、ご説明させていただきました。結果、大矢委員には、ご理解をいただきましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。それでは、竹内委員長議事進行をお願いいたします。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>議事1、平成30年度の利用状況について、幕張公民館からご説明をお願いします。</p>
<p>渡 辺 幕張公民館長</p>	<p>資料の1ページをお願いいたします。「花見川区公民館利用状況」ですが、ご説明の前に、今回の運営審議会の資料について、公民館の運営が指定管理者に移行したことに伴い、この運営審議会の事務局が各区の中核公民館から千葉市の生涯学習振興課に一本化された関係で、資料の書式等を千葉市内の6区、47館全ての公民館で統一いたしました。なお、花見川区の場合は、従来の運営審議会の資料と、統一された今回の資料の内容は、概ね同じものとなっております。</p> <p>それでは、表をごらんください。各公民館の「行」の上段は、平成30年度の1月末現在で、10か月分です。下段は、平成29年度の3月末現在で、12か月分です。縦方向には、花見川区の各公民館が10館並んでおります。横方向には、それぞれ、記載されている項目を表しておりますが、中ほど、「利用人数内訳」の欄は、「主催事業等」の欄には公民館が主催する講座への参加者数を、「社会教育団体」の欄にはクラブ活動・サークル活動で使用了の方の人数であり、「その他」の欄は、町内自治会や地域団体、こども会、PTAのほか、市などの行政機関が使用了人数です。</p> <p>各公民館の上段の数値が、平成30年度は、10か月分で、下段の平成29年度は12か月分ですので、単純に比較等はできませんが、次年度、2019年度の6月頃開催させていただく、第1回の運営審議会の資料には、両年度とも12か月分の数値を掲載させていただきます。次第にもごめいすように、30年度の資料に関しては途中経過をご報告させ</p>

ていただく「報告事項」で、ご協議いただく「協議事項」は、次年度、31年度の「公民館事業計画」ですので、ご理解を頂きたいと思えます。なお、上から3段目の犢橋公民館につきましては、29年10月にリニューアルオープンした関係で、29年度は6か月間の開館による数値となっております。

利用人数につきまして、30年度を仮に12か月分に換算してみますと、全館とも概ね29年度と同程度の利用人数となっております。また、例年2月、3月は他の月に比べ、地域団体をはじめご利用者が多くなっておりますので、全体的に順調に推移していると考えております。さらに、資料には記載しておりませんが、「利用人数」を千葉市内の47の公民館で比較してみますと、「幕張公民館」が1番で、市内47の公民館の中で最も多くの方々にご利用いただいております。その下の、「花園公民館」は、市内で5番目、一番下の「幕張本郷公民館」は16番目、上から4段目の「検見川公民館」が19番目、そのすぐ下の「花見川公民館」が21番、下から2段目の「朝日ヶ丘公民館」が22番、下から4段目の「こてはし台公民館」が23番となっております。引き続き、多くの方に、快適にご利用いただけるよう、努めて参りたいと考えております。

次に、資料の2ページをお願いいたします。「花見川区内公民館図書室の利用状況」でございます。こちら、上段は、平成30年度の1月末現在で、10か月分となっております、下段は、平成29年度の3月末現在で、12か月分となっております。縦方向に、花見川区で公民館図書室が併設されている5館を掲載しております。こちら、次年度、2019年度6月頃開催予定の第1回の運営審議会の資料には、両年度とも12か月分の数値を掲載させていただきますので、途中経過ということで、ご理解いただきたいと思います。

表の後から2列目の「貸出者数」、最後の列の「貸出冊数」を、30年度分を仮に12か月分に換算してみますと、まだ、2月、3月の動向を見なければわかりませんが、若干ですが、今年度は落ち込むことが、予測されます。これは、花見川区役所の中に（平成29年3月に）新たにオープンした「みずほハスの花図書館」の影響があると考えられます。次に、表の中ほどより少し前の列で「新規購入図書（冊）」の欄でございますが、29年度と30年度の1月までに、新規に購入した図書の冊数を記載しております。いずれの公民館図書室におきましても昨年度のおよそ、2倍から3倍の図書を購入し、新たに入れ替えることができました。この大幅な刷新は、ご利用者の皆様からも大変ご好評を頂いております。また、資料には記載しておりませんが、「貸出者数」を千葉市内にございます21公民館併設図書室と比較してみますと、こちら「幕張公民館図書室」が1番で、市内21の公民館併設図書室の中で最も多くの方々にご利用いただいております。一番下の段の「朝日ヶ丘公民館図書室」が市内で4番、上から2段目の「検見川公民館図書室」が6番、中ほどの「さつきが丘公民館図書室」が8番となっております。読書離れが進んでいると言われておりますが、少しでも歯止めをかけられる様に、様々な工夫を重ねていきたいと考えております。

3ページ、4ページにつきましては、過去3年分と今年度の10か月分

<p>竹内 委員長</p>	<p>の各公民館の利用者数の推移を表しております。運営主体が公益財団法人千葉県教育振興財団の指定管理に移行して1年が経過いたしました。が、次年度も引き継ぎ、公民館が「地域の総合交流拠点施設」としての機能を果たしていけるよう運営してまいりたいと考えております。私からのご説明は以上です。</p> <p>ご質問ご意見等がありましたらお願いします。はじめに所属とお名前を言ってください。マイクをつかっていたいただければと思います。何かありますか。</p> <p>ーよろしいでしょうか。何かありましたら、まとめて最後にお受けしたいと思います。</p> <p>それでは、平成30年度主催事業報告について、幕張公民館から順に説明をお願いします。なお、ご質問等は最後の幕張本郷公民館の説明が終了した後、まとめてお受けしたいと思います。</p>
<p>村松 幕張公民館副館長</p>	<p>それでは、平成30年度の幕張公民館事業報告についてご説明いたします。お手元の資料、5ページをご覧ください。</p> <p>事業報告のNo.1「子育てママのおしゃべりタイム」は花見川区事業です。最初に、No.2から6までの【家庭教育】の分類ですが、「2歳児前後の子育て講座」はテーマを変えて全4回で実施し、「子育ての経験は初めて」というお母さん達が多く、質問が多く出る等、有意義な講座となりました。No.3から5は、親子で参加する食育と物づくりの講座で、応募者も多く大変好評でした。「ウィンターコンサート」は今年度で5回目の開催で、当日は定員を超える参加があり、楽しいコンサートが実施できました。</p> <p>次に【少年教育】の分類ですが、「夏休みまなび隊」として、4講座を行いました。管内の小中学生を対象とし、長期休業中の子ども達の居場所づくりにも貢献しています。「ヒップホップ教室」や「えいごであそぼ」は、現在学校教育に導入されている課題の分野で、どちらも全3回の講座として行い、楽しく充実しレベルの向上も見られました。</p> <p>次に【成人教育】の分類ですが、No.11から15の5講座を行いました。「郷土千葉を知りあるこう」、「初めての楽しいガーデニング」、「要約筆記を学ぶ」は、いずれも本館サークルの方に講師をお願いしていますが、丁寧な指導で参加者にも大変好評でした。</p> <p>次に【女性教育】の分類ですが、No.16の「染物」とNo.17の「組みひも」という伝統的な2つの工芸を取り上げ2講座実施しました。講師を本館サークルの方にお願したことで親しみやすく、講座に参加された女性からは大変好評な講座となりました。講座終了後、サークルへの興味を示され、サークルに参加された方もいました。</p> <p>次に【高齢者教育】の分類ですが、No.18から21の4講座を実施しました。高齢者教育は現代的な課題でもあり、外部講師を招いての「エンディングノート」や「タブレットを使った脳トレ講座」は、高齢者が身近に感じている体や健康に関することなので、大変好評で充実したものとなりました。</p> <p>次に【団体・グループの助成】として、「子ども会リーダー育成講座」</p>

<p>南 川 花園公民館長</p>	<p>を幕張地区子ども会と連携して2講座実施しました。子ども対象では、東京ガスの出前講座で「電気を作る」体験をし、役員対象では「松ぼっくりのミニツリー作り」を体験し、大変喜ばれました。子ども同士や役員同士の親睦・連携にもつながったものと思います。</p> <p>最後に【その他】として、「児童・生徒の作品展」を行いました。地域の3小中学校から絵画や習字の作品をお借りして展示し、地域や来館者の方にご覧いただきました。</p> <p>以上、平成30年度は、全23事業を実施しました。</p> <p>花園公民館の平成30年度の事業報告をいたします。資料7・8ページをご覧ください。</p> <p>まず、【家庭教育学級】ですが、5事業を実施しました。中学校区の小中学校保護者を対象に「教育懇談会」「子育て教室」を行い好評でした。また新規で行った「大賀ハス飾りとミサンガづくり」は親子の協力のもと会話もはずみ好評でした。</p> <p>次に、【少年教育】では、子どもチャレンジとして、14事業を行いました。サークルの講師の方や、地域の方に（ヘルスマート、学習ボランティア、青少年育成委員会）ご協力をいただき、どの講座も大好評でした。新規事業「英会話教室」は8回の講座でした。工夫された内容で、子どもたちが生き生きと活動し、充実した活動となりました。</p> <p>また、「クリスマスケーキを作ろう」では、希望者が多く人気が高いことから1回増やして実施しました。</p> <p>続いて【成人教育】では、花園チャレンジ大学として7事業を実施しました。新規事業を6講座加えての実施でした。どの講座も魅力ある講座となりました。22番のウォーキング講座は実施後サークルとして立ち上がりました。予定していたフラダンスが、希望者がなかったことから未実施となりました。</p> <p>【高齢者教育】として「タブレットを使った脳トレーニング」1事業3回講座として実施し、好評でした。</p> <p>【その他】として7講座を実施しました。特に「千葉氏500年の光芒」、「落語を楽しむ」は人気が高く、大好評でした。</p> <p>また、花園公民館避難所運営委員会と三丁目自治会の協力のもと避難所開設訓練並びに研修を実施しました。その後の主催行事「ペットの災害対策」への意識の高まりにつながりました。</p> <p>30年度は以上の35事業を実施しました。以上です。</p>
<p>平 川 犢橋公民館長</p>	<p>それでは、犢橋公民館におけます平成30年度の事業報告につきましてご説明いたします。9・10ページをご覧ください。</p> <p>犢橋公民館は一昨年(2018年)の10月に犢橋市民センターとの複合施設としてオープンしまして、建替え前と比較すると「調理室」と「大広間」の二部屋が減り、「会議室」と「講習室」と「10畳程の茶室兼用の和室」と「舞台付きの講堂」の4つの部屋で運営しております。</p> <p>平成30年度の主催事業は、建替え前の平成27年度と比較すると2倍に当たる25の事業を実施致しました。9、10ページの資料のとおり、No.22の「犢橋の歴史講座」やNo.11の「折紙教室」更にNo.</p>

<p>齋 藤 検見川公民館長</p>	<p>1の「クリスマスケーキ作り」などは、ご覧のとおり定員の1.5倍から2.5倍の応募者があり、部屋の問題もありますが講師とご相談のうえ、応募者全員に受講していただくなど、市民の方々のご意見も取り入れ計画し、参加者には大変満足をいただいております。これらの主催事業を通じまして、社会教育の裾野が広がれば幸いと考えております。犢橋公民館における『平成30年度の事業報告』は、以上でございます。</p> <p>平成30年度の事業報告です。11ページをご覧ください。</p> <p>今年度より指定管理制度により千葉市教育振興財団の運営になりましたが、それに伴い職員も新しくなりました。検見川公民館も事務室は一人の非常勤職員以外私を含め契約職員全員が新しくなりました。昨年度は諸事情によりいくつかの主催事業ができませんでした。そこで、まずは、計画された30年度の事業をすべて実施することを目標として取り組んでまいりました。</p> <p>年度当初15事業でしたが、検見川公民館を利用している方からの持ち込み企画であるNo.12「急須でおいしいお茶を楽しむ会」とNo.13「シニア向け健康体操教室」を加え、17事業を実施しました。毎年実施している映画会ですが、当初の実施日が学校行事と重なっていて日程がなかなか決まらずずれこんでしまい募集が遅れてしまったり、No.10の居合道の体験教室は実施日が平日のサークルの活動日ということで参加できる方が限られてしまったり、ということで募集の仕方などに課題が見つかりました。しかし、シニア向け健康体操教室では参加者がサークルを立ち上げ、毎月定期で活動しています。</p> <p>小学生を対象にした事業No.9の「ガス管をリサイクルしてペンダントを作ろう」やNo.5の「初心者向けエコクラフトでカゴ（バッグ）作り教室」についてややマンネリ化した傾向にあり参加者も定員割れでしたので、来年度は他の事業に転換しました。検見川公民館は検見川小学校区が中心ですので学校との連携が不可欠です。より連絡を密にして連携を図っていきたいと思います。</p>
<p>飯 塚 花見川公民館長</p>	<p>花見川公民館の説明をさせていただきます。平成30年度公民館主催事業報告について、12ページをご覧ください。</p> <p>平成30年度は、18事業で講座回数は28講座の企画でした。まず、家庭教育事業の子育支援関連の事業ですが、2歳児前後親子ふれあい教室として実施しました。毎回新しい発見があつて、楽しく活動ができたという声をいただきました。</p> <p>次に、小学生を対象とした子ども向け事業ですが、合計5事業を各1回ずつ開催いたしました。事業内容への興味や学校の各種業事等との兼ね合いなどから定員に満たないものも見受けられましたが概ね成果が得られたのではないかと考えております。</p> <p>そして、成人向け・高齢者向け・その他の3分類は合計12事業で、健康や医療の講座に趣味的娯楽的なものも加え、何れも好評でした。</p>
<p>鴫 田 さつきが丘公民館長</p>	<p>平成30年度のさつきが丘公民館主催事業報告について説明いたします。それでは、13ページをご覧ください。</p>

最初は家庭教育です。親子料理教室は、夏と冬の2回、親子参加の体験型の講座を実施しました。お母さん方は子どもに教えながら、子ども達は教わりながら、お互いに楽しそうに調理に取り組む機会を持つことができました。一緒に活動することで親子はもちろん、友達との触れ合いの機会を得ることができ、大変好評でした。

また、小さいお子さんと保護者を対象にした親子ベビーマッサージ教室、子育てサロンを実施しました。子育てサロンは、先ほど渡辺館長からお話のありましたもので、本年度より実施したものです。30組を超える多くのお母さん、お父さん、子供達が参加し、親子の触れ合い、子ども同士、親同士の交流を通して、和やかな時間をたっぷり、じっくり、ゆっくり過ごすことができました。触れ合いはもちろんですが、子育ての不安を解消する機会にもなりました。

次に、少年教育です。今年度は、公民館で活動しているサークルの方にお願ひして、「子どもマジックショー」を実施しました。目の前で実施されるマジックの不思議さと楽しさを味わうことができました。継続で実施している書道教室では、昨年同様に書初め教室を実施しました。冬休みの課題である書初めを、講師の先生に教わりながら、楽しく充実した中で、学年に応じた作品を残していました。学校休業日への対応として、他にも、映画会、人形劇など、子供たちの居場所づくりと学校以外での学びの機会を提供する事業をしました。

次に、成人、高齢者教育です。恒例の「パソコン講座」に加え、「健康づくり教室」として、「日常に起こりやすい病気について」、「歯の毎日の手入れやケアについて」の講座を実施しました。更に女性対象にアロマセラピーを実施し好評でした。また、2月に実施した「スマートフォンの使い方を学ぶ教室」、3月に実施した「普段の生活で取り入れられる介護予防体操の教室」も好評でした。その他、継続として「生活に役立つ講座」、人気の落語、コンサートなども実施しました。

以上で、平成30年度公民館主催事業の報告を終わらせていただきます。

齊 藤

こてはし台公民館長

こてはし台公民館でございます。14ページをご覧ください。

今年度は、25事業を計画し、講師との日程の調整ができなかった4事業、応募者がなかった2事業を中止し、最終的に19事業を実施しました。

少年教育8番の子どもチャレンジ「星空の世界」は、昨年天候に恵まれず、本年度も講座終了直前まで、お目当ての「土星」は見えなかったのですが、参加者の保護者の協力で見事土星の輪を見ることができ、参加者から高い評価を得ました。

高齢者教育の12番から16番は「人生のまとめ」というくくりでテーマを設定し、連続して実施する工夫をしました。特に「エンディングノート」について関心が高く、講座終了後も質問が多数あり、「何回かに分けて講座をもってほしい」という要望も寄せられました。さらに受講者の要望を生かせるよう内容を検討しております。

また、資料には載せられなかった3月実施の23番「千葉氏の起こった時代」は予定の2倍近く申し込みがあり、講義の内容も具体的でよかつ

<p>松 戸 長作公民館長</p>	<p>たと好評でした。身近な歴史を学びたいという地域の方々の思いを事業の計画に取り入れていく重要性を痛感しました。</p> <p>資料の16ページをお開きください。30年度は16事業を実施予定で、1月までにそのうち11事業が開催済みです。</p> <p>今年度の特徴的な事業としましては、文化祭のプログラムに公民館事業を組み込み、文化祭参加者に参加してもらおう試みを昨年度に引き続いて行ったことです。今年度は事業番号6番の歌と踊りを交えて楽しみながら行う健康体操1を行ったところ、35人の方に参加していただき、好評を博しました。</p> <p>また、少年対象の事業につきましては、事業番号2番の工作講座、3番の環境講座、9番のお菓子作りなど、まずまずの応募者数となっており、今後、こうした少年対象や保護者を交えた講座を企画していきたいと考えております。</p> <p>なお、事業番号1番のガーデニング教室、5番の親子ふれあい教室、10番の新年おはなし会は毎年行っている事業ですが、応募者数が少なくなっており、内容や実施日数について、今後検討する必要があると考えています。</p> <p>以上を持ちまして、長作公民館の30年度事業報告といたします。</p>
<p>林 朝日ヶ丘公民館長</p>	<p>続きまして、朝日ヶ丘公民館です。17、18ページをご覧ください。平成30年度の事業報告ですが、家庭教育2、少年教育7、成人教育8、高齢者教育7、女性教育1、の25事業を計画し、1月末現在では、22事業を終了しております。</p> <p>家庭教育のNo.2「親子体操」では、6回実施し、親子で触れ合いながらの体操のため、とても楽しそうに活動していました。No.14「ベビーマッサージ体験教室」では、材料費のオイル代の負担を考慮しオイルを使わないで行ったため参加者も増え、実施することができました。少年教育の昨年度の受講希望者が減少してきた「ペットボトルでランプ作り」に代わって、No.9「ガス管をリサイクルしてペンダント作り」では、受講者も増え、形や色を工夫して色々なペンダントを作っていました。</p> <p>また、少年教育のNo.7「アートフラワー講習(ガーベラ作り)」では、細かい作業を行いきれいな花をつくることができました。また、今年度2回実施したNo.18、19「クリスマスケーキ作り」では、受講希望者も多く、参加した小学生がとても楽しく、仲良く協力しながら取り組んでいました。</p> <p>成人教育のNo.8「パソコン講習(エクセルは便利)」やNo.11、12「パソコン講習(なんでも相談)」では、学習支援者の説明もとてもわかりやすく受講者からたいへん好評でした。</p> <p>また、千葉市食生活改善推進員のお力をお借りして実施した、少年教育の千葉県の伝統料理であるNo.4「太巻き祭り寿司」や成人教育のNo.6「野菜たっぷりの健康レシピ」は、野菜不足からくる生活習慣病の予防や健康づくりのための食生活のあり方からも有意義な講座となったと考えております。</p>

<p>友 杉 幕張本郷公民館長</p>	<p>例年実施しております、千葉市社会福祉協議会・朝日ヶ丘地区部会主催の「ふれあい食事会」と連携した高齢者教育のNo. 1「軽音楽鑑賞会」やNo. 15「コーラス鑑賞会」・No. 21「朝日ヶ丘寄席」・No. 22「新春コンサート」などでは、普段外出しない高齢者の方々にも参観していただくことができました。今後とも、多くの方々に、公民館を学びの場としてもらうための講座の在り方について、検討を進めてまいりたいと思います。</p> <p>平成30年度幕張本郷公民館の課題、それを踏まえての取り組み、そして結果についてお話しします。</p> <p>課題は、資料の3・4ページにあるように、年々2000人程利用者が減っていることです。高齢化によるサークル参加者の減少、新しいシニア世代の公民館への関心の低さ、子どもサークルの新陳代謝不足があると考えます。</p> <p>そのため、魅力ある公民館事業を開発・展開し、地域の人々の興味や関心を公民館に向ける取り組みをしました。重点は二つあります。重点の一つ目は、主催・共催事業について、内容を豊かにし、実施回数を大幅に増やすことです。9事業、10回増やしました。</p> <p>新規の例として「仏像づくり」「子守神社と庶民の歴史」「面白科学教室」「現代の竹細工(クラフトバンド)」があります。実施回数を増やした例として1回だったところ4回とした「パン作り」や「お菓子作り」、定員を増やした例として、講師等と話し合い定員を最大限増やしたり、同日に2回に分けたりして実施した事業は「クッキーづくり」「科学教室」「フラワーアレンジメント」「笑いヨガ」等があります。</p> <p>なお、このように事業を大幅に増やし、定員を増やすことができたのは、幕張公民館渡辺館長からあったように、講師への報償費が大幅に増やされたからこそできました。今までやりたくてもできなかったことが、できるようになりました。「お金があれば何でもできる」とは言いませんが、予算が増えたために、多くの方の要望に応えることができました。また、共済事業・サークル支援にも力をいれました。千葉市園芸協会とタイアップした朝市、ボランティアを活用した日本語教室、地域団体とともに茶話会を行っています。さらに、サークル支援として、太巻きずし体験、詩吟教室等を行いました。</p> <p>重点の二つ目は、積極的広報活動です。キャッチ大作戦として、キャッチコピー&キャッチセールスを工夫しました。さらに、公民館だよりを毎月1回発行し、しかも内容を面白くしました。そして、公民館内のポスターを見やすく、面白みのあるものにしました。加えて、来館者にとにかく話しかけました。すると、寂しい人が多いようで、皆さんうれしそうでした。</p> <p>以上のような取り組みの結果、何とか利用者の減少に歯止めがかかり、新規の来館者が増えたと考えます。有難かったのは、好意的な言葉をかけてくださる方が大幅に増えたことです。「事業をいっぱいやってくれるから、いいよね」「公民館だより、毎月楽しみにしています」、講師や参加者から「次はこんな事業をやらない？」と提案、「なんか公民館が変わったね」。魅力ある公民館づくりのスタートラインにたてたと考え</p>
-------------------------	---

	<p>ています。以上で30年度の事業報告を終わります。</p>
竹内 委員長	<p>ご質問、ご意見がありましたらお願いします。</p>
鶴岡 委員	<p>幕張本郷のNo. 11に「神主日記を参考にした」とありますが、具体的にはどういうことでしょうか。</p>
友杉 幕張本郷公民館長	<p>白井千万子さんが元教師で、神社にある日記を解読し、15年くらい前に「子守神社神主日記」という本を発行しています。それをもとにして子守神社の話をしていただきました。地元でもあるので関心をもっていただきました。続編を予定しています。</p>
竹内 委員長	<p>そのほかありますかでしょうか。</p>
門脇 委員	<p>花園公民館が避難所開設に関する事業をしています。国でも言われていることで、災害に対して市民レベルで動くことが重要になっていますが、他の公民館ではどのような取り組みがあるのでしょうか。 また、今年度は講師にきちんと報酬を支払えるようになったということですが、そうするとカルチャーセンターと公民館の境目が曖昧になるような気がします。これについて公民館はどうお考えなのでしょうか。検見川公民館の着付け教室などは、カルチャーセンターのように感じます。</p>
松戸 長作公民館長	<p>ほとんどの公民館が避難所になっています。市でも進めている避難所運営委員会がほとんどの避難所で設立されていて、公民館館長も委員になっています。全体としてどのような位置づけにするのかは、各避難所で検討されています。 カルチャーセンターとの違いについてですが、単なる教室ではなく、公民館ではより家庭教育の充実や伝統文化の普及などを目的としています。</p>
竹内 委員長	<p>他にありますか。</p>
河合 委員	<p>公民館で子どもの英語サークルをしています。例えば花見川公民館や犢橋公民館など高齢者の多く子どもの少ないところは、地域性によって事業の配分をしているというのは、重要だと思いますが、地域の年齢層によって事業数は決められているのでしょうか。それとも公民館それぞれの匙加減によって変わるのでしょうか。</p>
田島 生涯学習振興課 課長補佐	<p>事業の配分については、各館、各地域によって状況が違うので、生涯学習振興課や中核館から件数の指定はしていません。各館で地域の実情を踏まえながら、ニーズや状況をみながら、バランスをとって事業の配分をしています。</p>
河合 委員	<p>子どもの保護者の代表としてここにきています。各館にばらつきがある</p>

	<p>など感じました。千葉市は児童館にいこうと思うと、きぼ一るまで行かなければならない。結果家でゲームばかりしている子どもが多く、視力が低いというデータも出ています。少年教育の事業数は花園公民館だと19事業でたくさんの子どもが参加できます。子どもの居場所づくりでばらつきがあるのではないのでしょうか。事業数が少ないところは、70名くらいの子供が受講できるというだけで、子どもの居場所づくりとなっているといえるのかどうか疑問です。</p>
<p>平川 犢橋公民館長</p>	<p>花園公民館は19事業、花見川公民館は7事業、犢橋公民館は5事業です。これは公民館の立地条件が非常に大きく関係しています。例えば犢橋公民館は小学校まで2キロ以上あり、親御さんの手を借りないと子どもが公民館に来ることが出来ません。子どもの居場所にという話は出ていますが、必ず子ども対象の事業を何件やろう、ということでは、地域の状況によって、公民館の事業がなりたたないことを、ご理解いただければと思います。</p>
<p>田島 生涯学習振興課 課長補佐</p>	<p>生涯学習振興課といたしましては、子どもの居場所づくりに力を入れていきたいと考えています。館によっては出来るかぎり子どもたちに部屋を開放するなどしており、事業数がすべてではないと考えております。</p>
<p>友杉 幕張本郷公民館長</p>	<p>幕張本郷公民館の場合は、成人対象の事業でも、親子で参加してもいいですよということにしています。結構好評で、講師にとっては指導が難しくなる場合がありますが、了解がとれれば親子で参加してもらっていて、今まで来られなかった方も活動に参加できるようにしています。</p>
<p>河合 委員</p>	<p>例えばさつきが丘公民館では面白そうなサークル活動から事業が展開され、他のところでも子どもの実態調査をされているなど感じます。幕張公民館でももうちょっと子どもむけを増やしていただきたいです。</p>
<p>村松 幕張公民館副館長</p>	<p>子ども事業を増やせば子どもの活動数が増える、ということではないのではないかなと考えています。幕張公民館では親子対象事業が3事業、子ども会対象として1事業。子どもむけとしては合計で9事業です。23事業のうち9事業ということは、39パーセントになります。つまり全体の4割を子どもむけに開催しています。</p> <p>関連して、幕張公民館では夏休み期間中、ひとつの部屋を子どもに開放している。涼しいところで勉強などしてもらうために、利用団体に動いてもらって部屋を開けていて、長期休業中の居場所づくりということで考えている。主催事業の数だけを増やせばいいというわけではないのかなと思います。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>私は幕張が地元です。ロビーに小学生、中学生、高校生が自主的に来ているのをよく見かけます。この公民館はたくさん子どもがきていますねと感心されるくらい、いい雰囲気で作っているのではないのかなと思います。</p>

河 合 委員	勉強しているからうるさくすると言われることがあります。のびのびとする雰囲気ではないと思います。一貫校が近くにあることも関係しているのか、勉強している子どもがすごく多い。小学生が元気に遊んでいる、ということではなくて、窮屈な思いをする子がいます。
大 矢 委員	もっと一般論的な話をするべきではないでしょうか。幕張の話は幕張でやってもらえればと思います。 私としては、生涯学習振興課にもたびたび話していますが、市は学童ルームの運営を社会福祉協議会に丸投げしていて、放課後子ども教室もある。つまり学童ルームと放課後子ども教室の頭が違うのです。これらを効率よく使って、そのうえで公民館をどう使うかはそれぞれの地域で考えればよいと思います。
竹 内 委員長	他にありますか。
橋 本 委員	公民館の子ども対象の事業ですが、対象となる小学生を学区で区切っているところと、そうでないところがあります。私立や、学区を超えた場合は参加できないのでしょうか。
村 松 幕張公民館副館長	所管がどこの小学校かというのは決まっています。所管内の小学校にチラシを配っています。ロビーの開放については、対象に制限はありません。
海 寶 幕張公民館	近隣の子が参加したいといえ、受け入れます。例えば兄弟が別の学校に通っている場合など。参加したいという希望があれば基本的に受け入れたいと考えています。
竹 内 委員長	他になければ。このあたりでまとめたいと思いますがいかがでしょうか。続きまして、協議事項。幕張公民館から順に。
村 松 幕張公民館副館長	平成31年度の幕張公民館事業計画について、新規事業を中心にご説明いたします。お手元の資料、21ページをご覧ください。 No. 2～6までの【家庭教育】の分類ですが、親子で参加する講座としては、アンケート結果から「カップケーキ&デザート作り」を新規の講座で取り入れました。来年度で6回目の開催となる「コンサート」は、より広い会場でというご意見を受け、幕張中学校の体育館をお借りして、「ウィンターコンサート」から「オータムコンサート」へと名称を変更し実施する予定です。 次に【少年教育】の分類ですが、管内の小中学生を対象とし、長期休業中の子ども達の居場所づくりも考慮し「夏休みまなび隊」として、来年度も4講座を計画しました。人気のある「ヒップホップダンス」や「えいごであそぼ」はどちらも3回講座で行い、新規に「身近な科学を体験」では、千葉市科学館の出前講座を2講座予定しています。 次に【成人教育】の分類では2講座増やし、No. 11から17の7講座を計画しました。人気の講座だった「郷土千葉を知りあるこう」は、

<p>南 川 花園公民館長</p>	<p>「地元花見川を知り、歩こう！」とテーマを変更し、原点である地元に向け、花見川区の史跡散策と講義を交えて、千葉を知る為の再スタートにと新規に計画し直しました。関連して、千葉県の歴史を紹介し、ふるさと千葉に対する理解と愛着を深めることを目的にした「千葉県文書館出前講座」も新規に取り入れました。</p> <p>新規事業としてもう一つ本館活動サークルの方に講師をお願いし、漢詩・和歌・短歌・俳句・新体詩等の「吟詠を楽しみながら健康寿命を延ばす」講座を、全6回の講座として計画しました。</p> <p>次に【女性教育】の分類ですが、伝統工芸をテーマとした30年度の講座から趣向をガラッと変え、「大掃除前の準備講座&お片付け基本講座」と「声を楽しむワークショップ」の新事業を2講座計画してみました。講師は千葉市やNPO外部団体の方をお願いし、女性の趣味や実益を兼ねた活動に貢献できればと期待しているところです。</p> <p>次に【高齢者教育】の分類ですが、No.20から23の4講座を計画しました。パソコンやスマホが当たり前になりつつある今、高齢者が自立しながら楽しく過ごすために、今年人気の高かった「タブレットを使った脳トレ講座」と新規に千葉市生涯学習センターの「パソコン出前講座」を計画しました。新規にもう一つ、エンディングノートに代表される、遺言・相続の悩みを解決するための「生前対策講座」を、現職の行政書士を講師に招いて計画しました。</p> <p>最後に【その他】で、No.26「花見川区複数館合同事業」として、幕張・花園・検見川・幕張本郷の4館合同テーマで、「夏休みに親子で工作」を新規に計画しました。4公民館管内の8小学校にチラシを配り、所管区内に関係なく自由に参加できるようにしたいと考えています。</p> <p>以上、平成31年度は、新規の12事業を含む、全26事業を計画しました。</p> <p>平成31年度事業計画についてご説明いたします。資料23・24ページをご覧ください。31年度は、継続15、新規8の23事業を予定しています。</p> <p>【家庭教育学級】として、花園中学校区の小中学校の保護者を対象とした「教育懇談会」や、親子を対象にした「子育て教室」、「大賀ハスの飾りづくり」など 引き続き5事業を予定しています。</p> <p>【少年教育】は、子どもチャレンジとして、9事業を予定しています。特徴としては、参加者が多く好評を得ている「パン作り」や「カルメ焼き」を継続事業とし、新規事業として「レゴロボットを動かそう」と「ハロウィンケーキを作ろう」を予定しています。</p> <p>【成人教育】では、花園チャレンジ大学として「歴史講座」を継続し、新規事業として「春のパエリアづくり」と「初めてのウクレレ」、「健康料理」の3事業を加えて、4事業を実施する予定です。なお、ウクレレはサークル化を目指します。</p> <p>【高齢者教育】として、地域、来館者のニーズをふまえ生前整理を予定しています。</p> <p>【その他】の講座では、人気の高かった 落語、歌謡ショーを継続します。また、花園公民館避難所運営の実践・研修も継続します。</p>
-----------------------	---

<p>平 川 犢橋公民館長</p>	<p>花見川区内複数館合同事業を予定しています。 平成31年度事業計画については以上です。</p> <p>犢橋公民館におけます平成31年度の事業計画についてご説明いたします。25・26ページをご覧ください。ご承知の通り、昨年4月から教育振興財団が指定管理者となり2年目を迎えました。事業予算も期待どおりでありまして30年度に実施した25事業の内、9事業を見直し、新たに10事業を計画し、一事業を増やし、26の事業を実施する予定でございます。</p> <p>大変恐縮でございますが、26ページの下から3行目をご覧くださいと存じます。No.26に『街を知る・歩く・つなぐ』をテーマとする事業ですが、これにつきましては、花見川区の公民館の内、区の北部に立地する「花見川公民館」「こてはし台公民館」と私どもの「犢橋公民館」の3館での合同事業として企画を致しました。</p> <p>それぞれの公民館のエリアにお住いの方々が、そのエリアの歴史的な物や現在脚光を浴びている事や物、また、魅力ある物などを発見し、点から線を、更に面に仕上げ、3つのエリアを纏めたものを情報として発信する事業であります。このことにより『郷土愛を育み、地域の活性化』を図る目的とした事業として計画をしたものでございます。</p> <p>公民館は、基本的に中学校区に1館と云うことで、現在、市内に47の公民館が設置されております。それぞれの公民館と同様に、犢橋公民館が抱える立地などの諸要件や過去の自主事業の実施結果などを踏まえ、また、地域の皆様のニーズに見合った事業を基本として計画したところでございます。</p> <p>今後も、多くの方々が期待され、参加しやすい事業を選択し、進めて参りたいと考えております。平成31年度の事業計画につきましては、以上でございます。</p>
<p>齋 藤 検見川公民館長</p>	<p>平成31年度の事業計画です。27ページをご覧ください。31年度は継続12、新規11の計23事業を予定しております。</p> <p>家庭教育は、3事業です。「親子遊びの教室(楽しく遊ぼう いち・に・さん)」、昨年度より実施の小さいお子様対象の「親子でリフレッシュ体操教室」に加え、新規事業として「親子で一緒に遊ぶリトミック教室」を計画しました。</p> <p>少年教育は、8事業です。28年度から始めた「子どもお話会(本の読み聞かせ)」は子どもの情操を深めるとともに、読書活動にも寄与することから、さらに内容の充実を図り継続していきたいと考えています。また、今年度ガスオーブンを購入していただきましたので「クリスマスケーキ作り」を行いました。来年度も実施する予定ですが、今年度1～3月まで主催事業の計画が立てられていませんでしたので、来年度は2月に「バレンタインチョコをつくろう」を実施し、比較的参加の少ない子どもたちの意欲の向上を図っていききたいと思います。これらに加え、複数館での合同事業も企画しています。</p> <p>成人教育は、7事業を予定しています。既存のサークルと連携を図った「体験学習講座」を5講座予定しております。今年度も高齢化等により</p>

<p>飯塚 花見川公民館長</p>	<p>活動を停止するサークルがあります。この講座は、高齢化が進むサークルの活性化を図る目的で行っており、毎年成果をあげております。今のところ、民舞・フラダンス・カラオケ・詩吟などを予定しており現在担当者と日程等の調整中です。また、オリパラ推進ということから、広くない検見川公民館ですが、地域のスポーツ振興会との連携によりボッチャ体験を11月に計画しました。以上です。</p> <p>29ページをご覧ください。平成31年度の事業計画は4事業増の21事業で講座数は8講座増の36講座を予定しております。</p> <p>事業の内訳といたしましては新規事業が4事業、夏休みこども教室が1事業、継続事業が15事業です。</p> <p>まず、家庭教育関連の子育て支援事業につきましては、「親子のふれあい」を中心に育児支援・母親同士の情報交換や仲間作りの推進に努めたいと思っております。</p> <p>次に、少年教育関連の事業につきましては、創造性の育成や人気度などを勘案して物作りや食べ物作りを主体にした4つの事業と生涯スポーツの選択を増やすためのスポーツ吹矢講座の計5事業を実施するもので、公民館に親しんでもらえるようにと思っております。</p> <p>また、成人向け事業・高齢者向け事業・その他事業につきましては合計15事業を企画いたしまして、医療や健康志向などに趣味的なものや歴史地域学習、娯楽的なものを加えたものとなりました。</p>
<p>鴫田 さつきが丘公民館長</p>	<p>平成31年度のさつきが丘公民館主催事業計画について、主なもの、新規事業を中心にご説明させていただきます。</p> <p>家庭教育ですが、30年度に引き続き、小学生と保護者の親子による「料理教室」、そして乳幼児と保護者の「親子ベビーマッサージ教室」、「子育てサロン」を予定しております。特に参加者が多く、関心の高い「子育てサロン」は、地域のニーズに応え、回数を増やして実施します。この事業が、子育て中のお母さん、お父さん方の憩いの場にもなり、安心して、楽しく充実した子育てができることを願っています。</p> <p>そして、公民館での楽しさが数年先には、夏と冬に実施している「親子料理教室」にもつながっていくことになれば、より意義ある事業になると考えています。</p> <p>健康づくり教室は、視点を変えて継続実施をしていきます。高齢者向けには起こりがちな病気や関心の高い病気の中から前年度と異なった内容を選び、成人全般では30年度は「歯」でしたから、31年度は「目」に視点を変え実施します。また、地域の方の要望をもとに、公民館に関わりのある犢橋貝塚を学ぶ講座を実施することを考えています。</p> <p>花見川区で取り組む複数公民館の連携による事業では、「思い残しのない終活を」と題して、長作・朝日ヶ丘・さつきが丘の3館で実施します。内容は「エンディングノート作り、自分史作り、遺言状や遺産相続の法的な基礎知識の習得」を考えています。「3館同じような内容で実施するか」、開催日は異なるので、それぞれの館の内容を変え詳しくして、参加者が3館を継続して参加することで、より意識を高め、知識を深めて、充実させていくような講座にするかなど検討中です。以上、簡単に</p>

<p>齊 藤 こてはし台公民館長</p>	<p>はございますが、平成31年度事業計画の主なもの、新規事業の説明を終わらせていただきます。</p> <p>こてはし台公民館です。32ページをご覧ください。来年度は、25の事業を予定しております。</p> <p>少年教育3番では、当公民館が、特色のある事業として大切にしてきました囲碁教室が昨年度中止になっております。女子小学生のプロ棋士が誕生したことで、子どもたちにも興味がわいてきたことを期待しています。世の中の流れに頼るしかない状態は心苦しいのですが、当公民館の囲碁サークルのスタッフは囲碁教室の再開を待ち望んでおります。</p> <p>また、成人教育12番では、30年度の講座の内容を発展させられる内容として、歴史の新たな見方を提示できるよう、初めて県文書館の講師をお願いするなど、「身近で深い内容」を目指した講座を計画いたしました。犢橋公民館の計画にありました3館協力事業とも関連を持たせていきたいと思っております。</p> <p>30年度は講師との日程調整に苦慮いたしましたので、より幅広く様々なネットワークの中から講師を依頼してきました。定期利用の方々の活動をできるだけ確保した上で、柔軟に事業の日程を組んでまいります。以上、31年度の計画です。</p>
<p>松 戸 長作公民館長</p>	<p>長作公民館の平成31年度の事業計画について説明申し上げます。資料の34ページをお開きください。来年度長作公民館が実施を予定しているのは、新規、継続あわせて20事業です。</p> <p>まず、小学生を対象とした、事業番号2番ゆかた着付け、3番工作、4番環境講座、12番アートフラワー、13番お菓子作り、14番おはなし会、15番茶道の7事業を計画し、うち3事業は保護者との触れ合いを深める目的で、保護者同伴としました。</p> <p>5番のパソコン教室は毎年開催しておりますが、応募者が減少傾向のため、今年度のエクセルに替えて、来年度は年賀状や暑中見舞を作る実用的な内容としました。</p> <p>また、公民館利用サークルに講師をお願いし、講座を開催する試みとして、31年度は6番の囲碁、11番の詩吟、14番のおはなし会、15番の茶道の4事業を開催する予定です。</p> <p>新規事業として、2番の親子ゆかた着付け講座の他、18番の消費生活講座を開催し、振り込め詐欺等の特殊詐欺や悪徳商法の被害防止を図るための講座を開催する予定です。初めての試みとして、区内公民館を3分割して共同事業を行うこととし、当館はさつきが丘・朝日ヶ丘と共同で7番の終活に関する講座を行うこととしました。</p> <p>以上、平成31年度の長作公民館事業計画を説明させていただきました。</p>
<p>林 朝日ヶ丘公民館長</p>	<p>朝日ヶ丘公民館です。資料の35・36ページをご覧ください。</p> <p>平成31年度事業計画ですが、本年度の成果と反省をもとに、来年度は26の事業を計画しております。</p> <p>事業内容の構成につきましては、本年度好評であったものは継続を図</p>

<p>友 杉 幕張本郷公民館長</p>	<p>り、その上で、新しい事業を加えました。そのため、継続事業21、新規事業5となっております。継続事業としては、少年教育のNo.1「太巻き祭り寿司」やNo.4「ガス管でリサイクル(万華鏡)」、No.5「親子料理」等を実施する予定です。また、今年度も受講希望が多かったNo.6,7「クリスマスのケーキ作り」についても、2回実施する予定です。さらに読書に親しむきっかけ作りのためにも図書室と連携してNo.2「おたのしみおはなし会」も引き続き実施していく予定です。</p> <p>成人教育では、受講希望が多いNo.24「パソコン講座」については、エクセルとワードで年賀状作り講座を実施するとともに、一人一人の技量に応じた支援ができるように複数の支援者を配置した講座を考えております。また、引き続いて、No.11「冬の花の寄せ植え」やNo.12「初心者のそば打ち」やNo.14「太巻き祭り寿司」等も実施する予定です。</p> <p>新規事業では、クラブサークル支援事業として、No.17「琴鑑賞会」やNo.21「楽しい生け花」、No.23「季節を楽しむはがき絵」を実施する予定です。また、成人教育のNo.26「思い残しのない終活を」を、さつきが丘・長作・朝日ヶ丘公民館の3館の合同事業として実施する予定です。家庭教育のNo.9「ベビーマッサージ体験教室」No.10「親子体操」、少年教育のNo.3「アートフラワー講習」、成人教育として、No.22「認知症講座」、女性教育のNo.15「アートフラワー講習」も実施していく予定です。</p> <p>例年実施しております、千葉市社会福祉協議会・朝日ヶ丘地区部会主催の「ふれあい食事会」と連携した高齢者教育のNo.16「軽音楽鑑賞会」やNo.18「コーラス鑑賞会」、No.19「朝日ヶ丘寄席」、No.20「大正琴鑑賞会」や今年度実施して好評だったNo.13「新春コンサート」も引き続き実施する予定です。</p> <p>平成31年度も、広報などにしっかりと取り組み、「学びの場」としての稼働率向上に努めてまいります。</p> <p>平成31年度主催事業計画を説明いたします。平成31年度は、30年度の成果を踏まえ、その方針を継続・強化していきたいと考えています。主催事業・共催事業等の質と量の改善をさらに進め、魅力ある公民館にしていきます。キャッチコピー&キャッチセールス(キャッチ大作戦)を継続し、広報活動や勧誘にさらに力をいれていきます。</p> <p>主催事業は、30年度実施のものを引き続き実施するとともに、一部修正し、新たな事業も考えています。例えば、和菓子・洋菓子づくりは、好評につき中華を追加。円空彫り教室は、本年度サークルができたので、その支援を得て再度実施。秋の料理は、お節料理に替えて、伝統文化の継承に努める。フラワーアレンジメントは、母の日にも行って関心を高める。絵手紙は、やや人気がなかったので、ちりめん工作に変更。新規は、ハーバリウム、ハリゴーフェスティバル(幕張本郷)、スパイスカレーづくり、親子コンサート等です。</p> <p>花見川区協同事業については、前に説明のあった通りです。共催事業等の日本語教室、茶話会、サークル支援事業については、引き続き実施します。</p>
-------------------------	---

<p>宮 間 委員</p>	<p>なお、31年度は空調の全面更新工事のため4か月ほど休館になります。事業計画の実施日未定はそのためです。主催等は最大限実施できるよう、現在講師と実施日の調整を続けています。 先ほど、幕張公民館渡辺館長から、本館の利用者は千葉市で16番であるとありましたが、来年度は5番以内になるよう努力をしたいと考えています。以上で、31年度の事業計画説明を終わりにします。</p> <p>4館合同事業についてですが、4館がそれぞれ4回ずつ開催して、全部で16回ということでしょうか。</p>
<p>海 寶 幕張公民館</p>	<p>各館1回、合計で4回です。親子できてもらいたということで、7-8月の土日で、地区のお祭りと被らない日程で開催したいと考えています。</p>
<p>吉 田 委員</p>	<p>合同で、同じテーマを4館ですということでしょうか。</p>
<p>海 寶 幕張公民館</p>	<p>10館ありますので、4・3・3館で、テーマを設けて計画しています。4館で同じテーマです。</p>
<p>飯 塚 花見川公民館長</p>	<p>花見川区を3グループに分けて、それぞれのテーマを設定しています。</p>
<p>宮 間 委員</p>	<p>全部で16回かどうかを確認したかったのですが。</p>
<p>海 寶 幕張公民館</p>	<p>各館1回で、合わせて4回です。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。次回、詳細にご報告いただけるのではないかと思います。 協議事項については、ご承認いただけるということでもよろしいでしょうか。</p> <p>拍手</p> <p>ありがとうございます。各館よりよい事業のために励んでください。次に、千葉市公民館設置管理条例の一部改正について、生涯学習振興課からお願いします。</p>
<p>田 島 生涯学習振興課 課長補佐</p>	<p>3月6日までの議会で可決・成立しました、変更となる部分についてご報告します。平成31年4月1日から、公民館使用制限を一部緩和します。政治的利用について、公民館における多様な学習機会の提供、市民の政治・市政に対する関心を高めることを目的としており、不特定多数の市民を対象としたものは使用可となります。ただし特定の政党への加入・支持を促すものや、政党の構成員のみを対象としたものは今まで通り認められません。</p>

	<p>また、公民館を使用するものは原則所管区域在住者に限るという制限を廃止します。これらについては、社会教育委員会でも審議していただき、適当である旨の答申を受けております。</p> <p>次に、市外の利用料金の一部改正について。10月1日から消費税増税に合わせて、使用料が改定されます。</p> <p>最後に、公民館はこれまで団体利用を原則としており、個人の使用は認めていませんでした。施設の有効活用や、個人の学習をサポートする目的で、使用の5日前になっても空いている部屋については、個人の使用を可とすることといたします。</p>
服部委員	社会教育法で禁じられた行為というのは、資料で「不許可」になっているものということですか？
田島 生涯学習振興課 課長補佐	政治に関していうと、特定の政党の利害に関するもの、政治以外では営利や特定の宗教に関する使用制限があり、それは変わりません。
宮間委員	使用料の実績はありますか。
田島 生涯学習振興課 課長補佐	ありません。
竹内委員長	今まで通り、団体の一部の人が市外の場合は無料です。構成員の全てが市外の団体は利用料金が発生するということですね。
田島 生涯学習振興課 課長補佐	そうです。ただし、団体の全員が市外ということはあまり考えにくいですが。
河合委員	前回申し上げたことですが、子どもは16時から18時までしか使用できません。子どもの居場所を考えた時に、使用区分を変更するという点については、どうなっていますか。
竹内委員長	まず、設置管理条例に関してはご理解いただけたということによろしいでしょうか。 では、使用区分について回答をお願いします。
田島 生涯学習振興課 課長補佐	夕方に子どもが来館しやすいというのは、状況としてありうると考えます。しかし、その他の利用団体との兼ね合いを踏まえると、特定の団体に対してのみ夕方の時間帯を設定することは、他団体への影響が大きいことから、公民館全体として合意を得ることは困難であると考えます。もっとも、前後の使用団体と調整し、使いやすい時間を確保することは、運用の枠内で可能であると思われれます。
河合委員	私は8年間公民館を利用していますが、夕方利用していない公民館もあ

竹内 委員長	<p>りますよね。</p> <p>そんなに簡単ではないということですね。今の段階では、システムとしては千葉市の公民館全部を統一的に受け付けているのですから、ひとつの館だけ区分を変えるというのは不可能ということですね。前日に部屋が空いていていれば、使えますよね。</p>
田島 生涯学習振興課 課長補佐	<p>その場合は、直前予約ということになるので、可能です。コマの枠組みを変えるわけではありませんので。夜間の枠も使っているという理解になります。</p>
竹内 委員長	<p>全体を統一に変えることは現段階では難しいということですね。公民館は千葉県の予約システムに移行したばかりということもありますので。前日などに、空いていれば、館の運用としてお使いいただくことは可能ということでしょうか。</p>
田島 生涯学習振興課 課長補佐	<p>午後に予約していて、夜間が空いているということであれば、直前の予約は可能です。</p>
竹内 委員長	<p>それでは時間も過ぎましたので、ここで事務局にお返しします。</p>
柴崎 生涯学習振興課 主査	<p>ありがとうございました。会議の議事録の確認につきましては、今回より委員長に一任ということで、お願いいたします。</p>
竹内 委員長	<p>今まで議事録著名人を順番にお願いしていましたが、今後は議事録の確認は委員長に一任ということです。よろしいでしょうか。</p> <p>拍手</p> <p>ありがとうございます。</p>
柴崎 生涯学習振興課 主査	<p>それでは、以上を持ちまして平成30年度花見川区公民館第2回運営審議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。</p>

閉会 12時10分

【問い合わせ先】
生涯学習振興課
TEL043-245-5954